

### 第3回佐世保市子ども・子育て会議分科会 議事録（要約版）

#### 〈Ⅲ〉 幼児教育・保育の充実

日時：令和元年8月8日（木）9時30分～11時30分

場所：佐世保市中央保健福祉センター

（すこやかプラザ） 6階研修室3

議事（1）現行「佐世保市子ども・子育て支援事業計画」の一部見直しについて	
●地域子ども・子育て支援事業の追加について	
質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
<p>（副食費の施設による徴収に係る補足給付事業について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3子以降が免除を受けられるということだが、上の子の年齢は関係ないのか。</li> </ul>	<p>（子ども支援課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3子以降の副食費免除において、第1子を何歳からカウントするかは、施設のタイプによって異なる。 幼稚園等は、小3以下の方を第1子目としてカウントする。保育所等は、同時在園の1番目の方を第1子目として数える。</li> </ul>
議事（2）次期「新させぼっ子未来プラン」の策定について	
●次期「新させぼっ子未来プラン」[案]について	
質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
<p>（「新させぼっ子未来プラン」の文案について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「幼児教育・保育」と「教育保育」はどう違うのか。0～2歳はそこに入るのか。</li> </ul> <p>（合計特殊出生率・子ども女性比について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同規模都市圏の中ではまだ高いほうにある。ワークライフバランスをこの5年間でどう進めていくのか等、未来部だけではなく他部局との連携をとりながら取り組んでほしい。</li> </ul>	<p>（子ども政策課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現については、基本的に「幼児教育・保育」で整理したい。0～2歳も含める。</li> </ul> <p>（子ども政策課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減対策の切り口として、「地方創生総合戦略」をつくっている。自然増減における人口対策、また大きな要素としての社会動態も含めて、人口減対策、その中の少子化対策について横断的に取り組みを行っているところである。 市政全般をまとめた「次期総合計画」においても、今後の重点課題として、人口減対策、少子高齢化対策がうたわれており、1つの目指す姿として、合計特殊出生率を少しでも上げていこうという方向性も示されている。市として各部局を横断して、今後は取り組んでいく。</li> </ul>

(認定こども園の普及に係る基本的考え方について)

- ・ 幼稚園5園について併存していくべきなのか、すべて認定こども園になったほうがいいのか、どう捉えればいいのか。

(病児保育について)

- ・ 1保育所で行っているところがある。小児科と限って、病児・病後児保育をすると明記するのはどうなのか。

(定員の拡充や保育士等の確保について)

- ・ 自分の園の園児に見合う保育士を確保できない状況の中では、定員を増やすことはできない現状がある。保育士の確保についてもっと強く市として表現してほしい。

同時に、看護師の資格だけでなく、子育て支援員の資格を取った場合は、保育士と同等と見なすということも1つの保育資格対策だと思うので考えてほしい。

(共働きについて)

- ・ 現状、共働きしないと生活ができない家庭が多いが、ワークライフバランスなど考慮して、共働きそのものの根本的な部分を変えていけばいいのではないか。

各家庭の事情があり、人らしく生きていくためのワークライフバランスに向けてフォローアップをするときに、未来部が問題意識を持って、他の部局等にメッセージを発信してほしい。

(子ども支援課長)

- ・ 市内では、小児科併設型の病児保育に取り組んでいる。今4施設あるが、本年度中に整備予定で、あと1施設増設される見込みとなっている。佐世保市のタイプではないものをされている所もある。今年度から西九州させぼ広域都市圏という枠組みもスタートしているので、他市、他町の状況等もそれぞれ随時確認しながら、圏域内での運用等ができれば、検討を始めていきたい。

(子ども政策課長)

- ・ 保育の人材の部分、質の向上の部分について、改めて検討を重ね示したい。また意見をいただきたい。

<p>(保育人材について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育士の確保が解決したうえで、質の向上の話にいける。まず、いかに確保するかをフォローアップしていきたい。</li> </ul> <p>(子ども・子育て支援事業計画の量の見込みについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを産み、安心して預けられる点では、0～2歳を無償化の対象にして3歳児以上は所得制限があってもいいのではないかと。そのような市の独自の姿勢で発信することで0歳児が増えるのではないかと。</li> </ul> <p>(病児保育について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数字の出し方が、実態に即していない。足りていないのではないかと。</li> </ul> <p>(待機児童について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現実に隠れ待機児童が発生するところを、どうやって考えていけばいいか。区域別に見ると、地域にある施設の数や定員数が限られていて、必然的に入れない子が生じてくる。そのバランスをどう考えていくのかというのが課題。</li> </ul> <p>どこの人がどこの地域に預けているのかといった数字を出していけば参考になるし、そういった数字が肝心だと思う。</p>	<p>(子ども政策課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教育の負担軽減による少子化対策と、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の機会の保障という2つが無償化の趣旨として挙げられている。制度スタートを皮切りに、どのように無償化が動いていくのか、市としても注視したい。</li> </ul> <p>(子ども支援課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直近の利用を見て、一番利用が多かった3,180人よりも少し増やして、3,200人という数値を見込んでいる。実際に利用できる定員としては9,400人程度。量の見込みとしては、直近の数字よりもプラスして計上している。</li> </ul>
<b>議事(3) その他</b>	
<b>質問・意見等</b>	<b>事務局回答・今後の方針など</b>
	<p>(今後の会議日程について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月26日～29日を予定。</li> </ul> <p>(小川分科会長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次回総会までの任期と、次期委員の選出について報告。</li> </ul>